

北広島市保健福祉計画検討委員会
第1回 障がい福祉部会

日 時：平成26年7月31日（木） 午後7時30分～午後8時25分

場 所：北広島市芸術文化ホール 2階 練習室2

◇北広島市保健福祉計画検討委員会委員

出席者：板垣委員（部会長）

富田委員（職務代理者）

野口委員

狩野委員

道下委員

松坂委員

若狭委員

長谷川委員

欠席者：なし

◇事務局

木下福祉課長

福島こども発達支援センター長

柄澤福祉課主査

川又福祉課主査

玉手こども発達支援センター主査

◇傍聴者 なし

《議事概要》

1 開会

2 部会員紹介、事務局紹介

3 部会長の選出

事務局：北広島市保健福祉計画検討委員会設置条例の規定で、部会員の互選により選出することになっている。どのように選出したらよいか意見を頂きたい。

委員：事務局から案を示してもらってはどうか。

事務局：部会長は板垣委員にお願いしたい。

(異議なし、承認)

4 職務代理者指名

事務局：会長が欠けたときなどに、部会長があらかじめ指名する者が職務代理をするという規定になっている。

部会長：先ほど部会長に指名されたばかりなので、事務局から案を示してほしい。

事務局：職務代理者は富田委員にお願いしたい。

部会長：職務代理者は、富田委員にお願いする。

5 説明事項

事務局：北広島市障がい者福祉計画・第4期障がい福祉計画の概要について説明。

(質問、意見なし)

6 協議事項

事務局：アンケート調査の実施について説明。

委員：アンケートの文字の大きさは、資料と同じか。

事務局：同じである。

委員：今回のアンケートはちょっとした表現などをわかりやすくしていると感じた。

委員：前回のアンケート調査の回収率は、どの程度であったか。

事務局：回収率は51.4%である。

委員：回収率の内訳は、在宅・施設別ではわからないか。

事務局：配付対象者の内訳は計画書の記載のとおりであるが、在宅・施設別の内訳はわからない。

委員：前回調査では、親御さんがいる障がい者の方だと親御さんが記入できるので、在宅の方が回収率は良いのでは、と感じた。単身の方だと、何が届いたのかもわからない状況が多いので、「みらい」などに相談いただければもっと回収できたのではないかという気がした。サービス事業者にもこのアンケートの実施についての広報など行い周知しておく、事業者から利用者に「アンケートが送られているので協力してください」などと伝えてもらえると思う。

事務局：参考とさせていただきます。

委員：調査の対象者の600名は、市内の在宅の方で障がい福祉サービス利用者及び施設入所支援の方となっているが、施設入所支援の方については市内の入所施設利用の方となるのか。

事務局：そうです。ただし、市外からの施設入所者は含みません。

委員：グループホームも同様か。

事務局：同様です。

委員：以前札幌市にいたときに、市内の福祉施設宛に、災害発生時に近隣の障がい者の受け入れが可能かどうかというアンケートが届いたことがある。市からの説明では、受け入れが可能で人数分の非常備蓄品なども供給するという話であった。昨今、福祉事業者には地域貢献が求められている風潮があり、協力体制などについて事業者側に対するアンケートも必要なのではないか。札幌市では市内の障がい者施設で連携協議会を立ち上げて、その中で非常時のネットワークの形成などを行っていると聞いている。協議会の中では勉強会や研修会（避難誘導なども含めて）も実施するという話もあり、北広島市の方でも参考にされると良いのではないかと。

事務局：市で見直しを考えている地域防災計画の一環として、「福祉避難所の指定」という項目を考えており、今年度中に動く準備をしている。紹介のあった札幌市の事例も参考にさせていただきます。

部会長：アンケート調査の実施についてはよろしいか。

（異議なし、承認）

7 その他

委員、事務局とも特になし。

8 閉会